

# 共焦点レーザー走査型顕微鏡 FV4000 インキュベーションモニタリングシステムCM30 実機デモンストレーションのご案内



< FV4000デモ機仕様 > レーザー：405/445/488/514/561/594/640/685/730/785nm  
検出器：6CH 顕微鏡：倒立型（電動ステージ・培養装置あり）各種オプション

日時  
場所

**実機デモ：8月26日(火)～28日(木)**

場所：広島大学 霞キャンパス

原爆放射線医科学研究所研究棟 314

実機デモ日程	10:00～12:00	13:30～15:30	16:00～18:00
8月26日（火）	-	①	②
8月27日（水）	③	④	⑤
8月28日（木）	⑥	⑦	-

申込  
方法

下記リンク or QRコードより、デモ申し込みフォームにアクセス ➡  
<https://forms.cloud.microsoft/e/9igunkJsmY?origin=IprLinI>

※事前予約制（先着順）



お問  
い  
合わせ

主催：原医研 附属放射線先端医学実験施設 遺伝子実験系

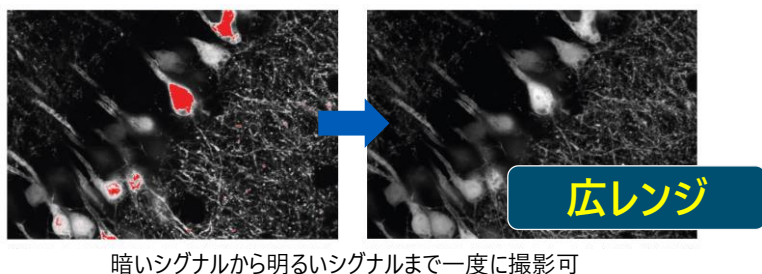
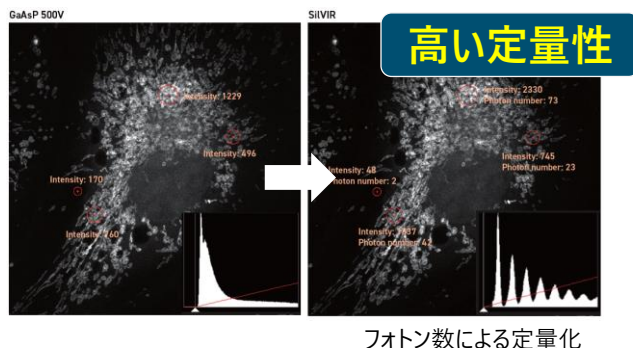
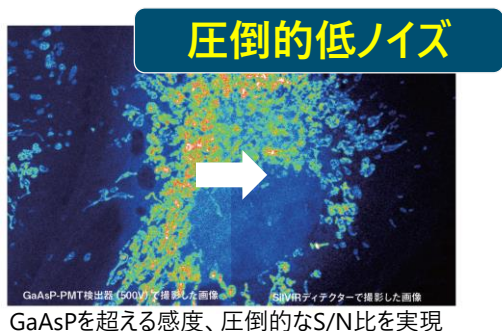
株式会社エビデント 担当: 松本 尚樹

TEL: 050-3181-1776 E-Mail: naoki.matsumoto2@evidentscientific.com

【注意】本セミナーへの参加申込フォームでご登録いただいた個人情報の取り扱いに関して  
・取得した個人情報は個人情報法に基づき本デモの目的以外では使用いたしません。

# NEW 共焦点レーザー走査型顕微鏡 FV4000

- ・次世代検出器 SiIVIR × TruSpectralによる**超低ノイズ・高感度**画像イメージング
- ・**16bitダイナミックレンジ**で組織～細胞内微小構造レベルまでマルチスケールイメージング
- ・光子数換算、レーザー強度補正による**定量イメージング**を実現

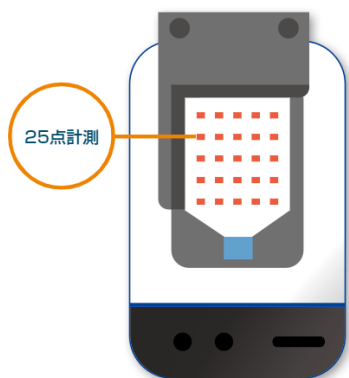


FV4000  
製品ホームページ

## インキュベーションモニタリングシステム CM30

細胞培養モニタリングにより、安定した培養プロセスを実現。

- ◆ 定量データを自動計測
- ◆ 実験の再現性を向上
- ◆ 作業時間やコストを削減



### 培養容器内の複数点を自動で計測

CM30は複数点で培養容器を自動計測します。また、培養容器の全面観察はもちろん、培養プレートの複数ウェルをモニタリングすることも可能です。インキュベーターからサンプルを取り出すことなく細胞の状態を継続的に観察でき、定性的にも定量的にも細胞の培養状況を的確に捉えられます。カスタムモードを使えば、モニタリング目的に応じて測定点、フォーカス位置、撮影時間等を任意に設定できます。



CM30  
製品ホームページ



96 ウェルプレート



ペトリディッシュ



T75 フラスコ



多層フラスコ